

加古川市健やか親子 2 1 最終評価

【報告書】(案)

加古川市

目 次

I	はじめに	1
II	最終評価の目的と方法	
1	目的	1
2	方法	2
III	最終評価の結果	
1	全体の目標達成状況の評価	3
2	課題別事業の取組みと評価	
	【課題1】思春期の心と体の健康づくりと健康教育	4
	【課題2】安全で快適な妊娠・出産ができる環境づくり	6
	【課題3】小児保健医療等を取り巻く環境整備	8
	【課題4】子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減	12
IV	最終評価から見てきたこと	
1	思春期の心と体の健康づくりと健康教育	15
2	安全で快適な妊娠・出産ができる環境づくり	15
3	小児保健医療等を取り巻く環境整備	15
4	子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減	16

資料

最終評価一覧

I はじめに

「健やか親子21」は、21世紀の母子保健の主要な取組を提示する国のビジョンです。これは、関係者、関係機関・団体が一体となって、その達成に向けて取り組む国民運動計画として、「健康日本21」※の一翼を担うものです。

本市では、平成15年3月に、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを推進するための指針として、「健康日本21」「健やか親子21」の地方計画に位置付ける「ウェルネスプランかこがわ」を策定しました。「ウェルネスプランかこがわ」は、平成15年度から平成24年度までの10年間の計画であり、国の計画見直しや社会情勢の変化に対応するために、策定から5年後の平成19年度に中間評価を、平成24年度には「健康日本21」に関する部分の最終評価を実施しました。この度「健やか親子21」部分に関しては、最終評価を実施しましたが、一部「健康日本21」と重なる指標については、平成24年度の評価をもって最終評価とします。

	15 年 度	16 年 度	17 年 度	18 年 度	19 年 度	20 年 度	21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度	26 年 度	27 年 度
ウェルネスプランかこがわ					中間評価					最終評価			
加古川市健やか親子21					中間評価					一部評価			最終評価

※健康日本21…国民一人ひとりの健康を実現するための国の健康施策「21世紀における国民健康づくり運動」

II 最終評価の目的と方法

1 目的

「加古川市健やか親子21」の最終評価の目的は、策定時や中間評価で設定した目標について、目標の達成状況や関連する施策等取組の状況を評価するとともに、新たな課題を明らかにし、平成28年度以降の母子健康づくり施策のより効果的な推進を図ることです。

「加古川市健やか親子21」において設定された4つの主要課題ごとに設けた指標について、目標の達成状況や関連する施策の取組状況の評価などを行いました。

< 4つの主要課題 >

- ① 思春期の心と体の健康づくりと健康教育
- ② 安全で快適な妊娠、出産ができる環境づくり
- ③ 小児保健医療等を取り巻く環境整備
- ④ 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減

2 方法

本計画の最終評価を行うために、乳幼児の保護者を対象に、「出産・子育てに関するアンケート調査」及び中学2年生、高校2年生を対象に「健康生活についてのアンケート調査」を実施しました。その結果や各種統計等のデータに基づいて指標の実績値を把握し、計画策定時や中間評価時の値、目標値等との比較を行い、下記のとおり分類し、評価しました。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 改善した<ol style="list-style-type: none">①目標を達成した②目標に達していないが改善した2. 変わらない3. 悪くなっている4. 評価できない |
|---|

アンケート調査の概要は以下のとおりです。

○「出産・子育てに関するアンケート調査」

対 象 者：平成26年8月、9月の4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の対象児の保護者 1,167名

調査方法：平成26年7月～8月に対象者に調査票を郵送し、平成26年8月～10月の3か月をかけて乳幼児健診会場にて回収

回 収 数：733枚

回 収 率：62.8%

○「健康生活についてのアンケート調査」

対 象 者：市内の中学2年生293名、高校2年生475名

調査方法：平成27年4月～5月に各学校に調査票を直接配布、回収

回 収 数：768枚

回 収 率：100.0%

Ⅲ 最終評価の結果

1 全体の目標達成状況等の評価

4つの主要課題について37指標を設定し、各指標における策定時（当初）の数値と直近値とを比較して評価した結果、37指標中26指標で改善が見られました。

		目標達成した	目標に達していないが改善した	変わらない	悪くなっている	評価できない
課題①	思春期の心と体の健康づくりと健康教育 8指標	なし	・十代の喫煙率 ・十代の飲酒率 ・薬物乱用の有害性について正確に知っている中高生の割合 ・性感染症を正確に知っている高校生の割合 4指標	なし	・避妊法を正確に知っている18歳の割合 1指標	・十代の自殺率 ・十代の人工妊娠中絶実施率 ・十代の性感染症罹患率 3指標
課題②	安全で快適な妊娠出産ができる環境づくり 5指標	・妊娠・出産について満足している人の割合 ・妊娠11週以下の妊娠届出率 2指標	・妊娠・出産について満足している人の割合 ・母性健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合 2指標	なし	なし	・産後うつ病の発生率 1指標
課題③	小児保健医療等を取り巻く環境整備 16指標	・新生児乳児死亡率 ・乳児SIDS死亡率 ・1歳6か月までに三種混合予防接種を終了している人の割合 3指標	・幼児死亡率 ・育児期間中の両親の自宅での喫煙率 ・妊娠中の飲酒率 ・かかりつけ小児科医を持つ親の割合 ・休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合 ・事故防止対策を実施している家庭の割合 ・心肺蘇生法を知っている親の割合 ・1歳までにBCGをしている人の割合 ・1歳6か月までに麻疹の予防接種を終了している人の割合 9指標	・全出生中の低体重児、極低出生体重児の割合 1指標	・周産期死亡率 ・乳児にうつぶせ寝をさせている親の割合 2指標	・不慮の事故死亡率 1指標
課題④	子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 8指標	・虐待による死亡数 ・子育てに自信が持てない母親の割合 ・子どもを虐待していると思う親の割合 ・育児に参加する父親の割合 ・出産後1か月時の母乳育児の割合 5指標	・乳幼児の健康診査に満足している人の割合 1指標	・育児について相談相手のいる母親の割合 1指標	なし	・法に基づき子ども家庭センター等に報告があった被虐待児童件数 1指標
指標計		10指標 (27.0%)	16指標 (43.3%)	2指標 (5.4%)	3指標 (8.1%)	6指標 (16.2%)

2 課題別事業の取り組みと評価

【課題1】思春期の心と体の健康づくりと健康教育

《事業の取り組み》

本市では、豊かな心と健康な体づくりをめざした様々な取り組みを行っています。たばこや薬物の害について医師や警察等と連携した薬物乱用防止教室を行うなど正しい知識の普及啓発を図りました。心の問題では、スクールカウンセラーを配置するなど相談体制の整備を行いました。

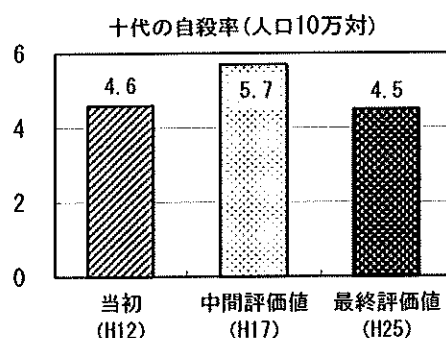
《 評価 》

■指標（1）十代の自殺率

＜目標値＞減少

県内では、10代の自殺率は4.6から4.5と減少していますが、本市での数値未把握のため、評価できません。

資料：兵庫県保健統計年報

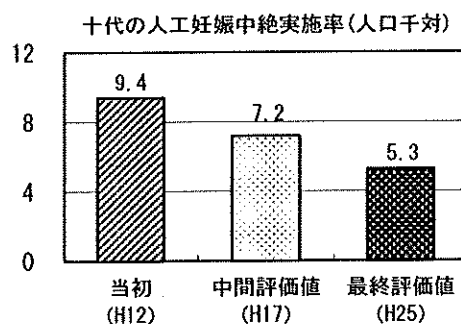


■指標（2）十代の人工妊娠中絶実施率

＜目標値＞減少

県内では、10代の人工妊娠中絶実施率は9.4から5.3と減少していますが、本市での数値未把握のため、評価できません。

資料：兵庫県統計書

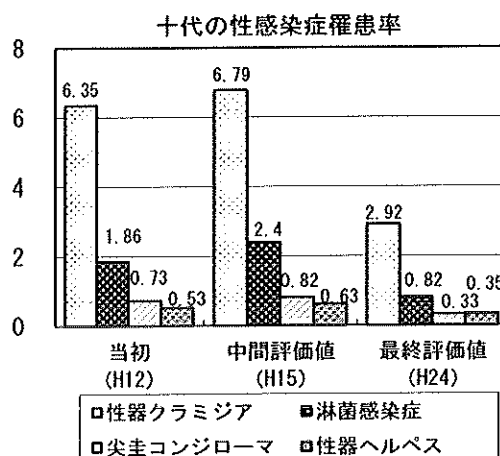


■指標（3）十代の性感染症罹患率

＜目標値＞減少

10代の性感染症罹患率は、4つの感染症全てにおいて国の定点医療機関1カ所あたりの疾患別件数は減少していますが、本市での数値未把握のため、評価できません。

資料：感染症発生動向調査

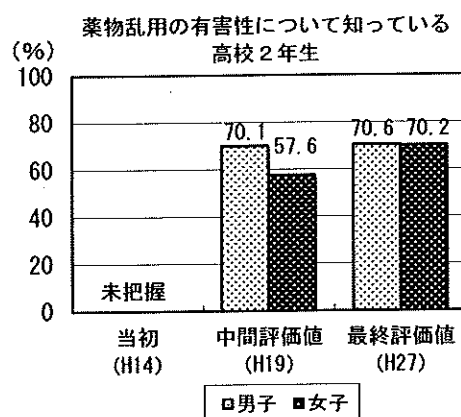
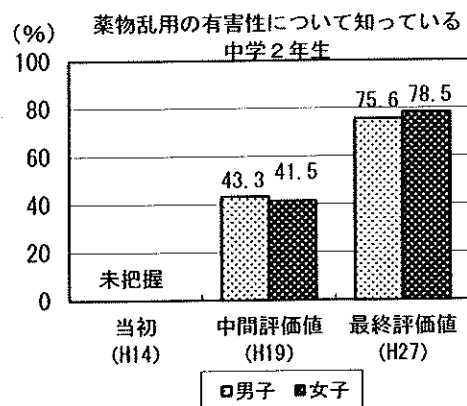


■指標（４）薬物乱用の有害性について正確に知っている中・高校生の割合

<目標値> 100%

薬物乱用の有害性について正確に知っている中高生の割合は、中学2年生は男子43.3%から75.6%、女子41.5%から78.5%と増加しています。高校2年生は男子70.1%から70.6%、女子57.6%から70.2%と増加していますが、目標は達成していません。

資料：市 健康生活についてのアンケート

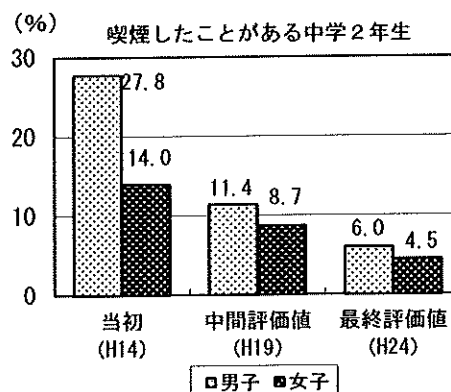


■指標（５）十代の喫煙率〔喫煙したことがある人の割合〕

<目標値> 0%

10代の喫煙率は、男子は27.8%から6.0%、女子は14.0%から4.5%に大きく改善しましたが、目標は達成していません。

資料：ウェルネスプランかこがわ

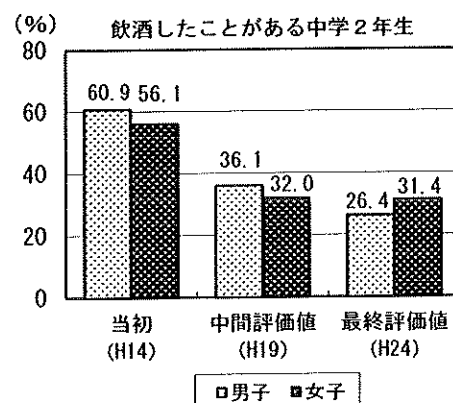


■指標（６）十代の飲酒率〔飲酒したことがある人の割合〕

<目標値> 0%

10代の飲酒率は、男子は60.9%から26.4%、女子は56.1%から31.4%に改善されましたが、目標は達成していません。

資料：ウェルネスプランかこがわ

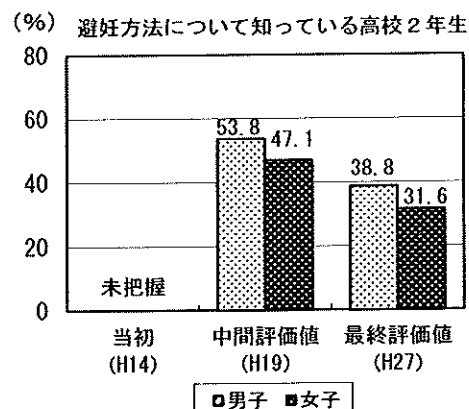


■指標（７）避妊法を正確に知っている１８歳の割合

<目標値> １００％

避妊法を正確に知っている高校２年生の割合は、男子は 53.8% から 38.8%、女子は 47.1% から 31.6% と減少しています。

資料：市 健康生活についてのアンケート

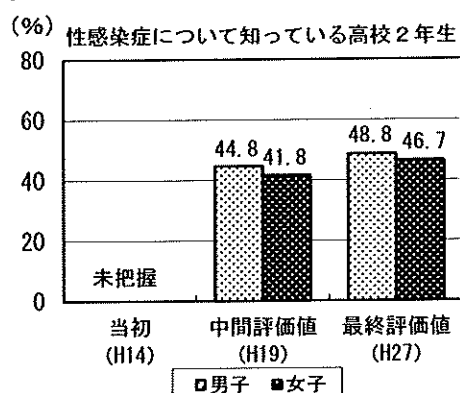


■指標（８）性感染症を正確に知っている高校生の割合

<目標値> １００％

性感染症を正確に知っている高校２年生の割合は、男子は 44.8% から 48.8%、女子は 41.8% から 46.7% とやや増加し改善しましたが、目標は達成していません。

資料：市 健康生活についてのアンケート



【課題２】安全で快適な妊娠、出産ができる環境づくり

《事業の取り組み》

妊娠初期から適切な時期に妊婦健診が受けられるよう、平成 18 年度より妊婦健康診査費助成事業を開始しました。妊娠早期からの相談、両親学級、訪問指導等の支援を行い、安心して妊娠、出産ができる環境づくりに取り組みました。

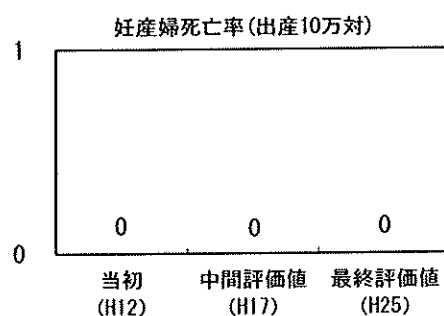
《 評 価 》

■指標（９）妊産婦死亡率（出産 10 万対）

<目標値> 現状維持

妊産婦死亡率は、当初、中間評価、最終評価いずれも 0 で、目標を達成しています。
(妊産婦死亡者数はいずれも 0 人)

資料：兵庫県保健統計年報

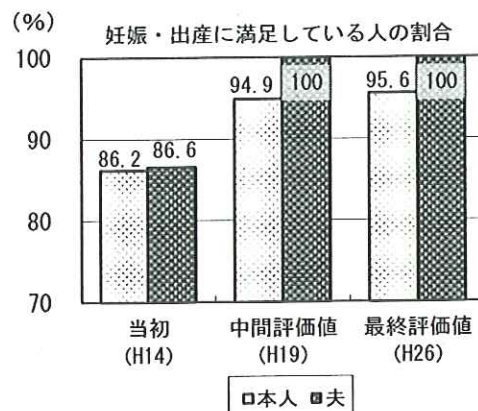


■指標（10）妊娠・出産について満足している人の割合

＜目標値＞100%

妊娠・出産について満足している人の割合は、本人は86.2%から95.6%に増加しましたが、目標は達成していません。夫については86.6%から100%と目標を達成しています。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート



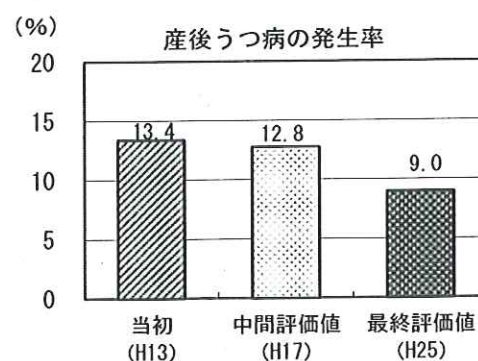
■指標（11）産後うつ病の発生率

＜目標値＞減少

国の調査では、産後うつ病の発生率※は、13.4%から9.0%に減少していますが、本市での数値未把握のため、評価できません。

※産後うつ病の発生率…産後うつ病のスクリーニングに用いられるEPDS（エジンバラ産後うつ病自己評価票：Edinburgh Postnatal Depression Scale）9点以上の割合。30点満点中9点以上が産後うつ病の疑いが高い。

資料：厚生労働省「健やか親子21」最終評価報告書

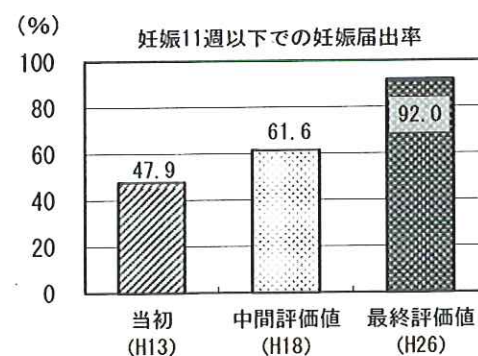


■指標（12）妊娠11週以下での妊娠届出率

＜目標値＞90%

妊娠11週以下での妊娠届出率は47.9%から92.0%と大きく増加しており、目標を達成しています。

資料：市 妊娠届出状況



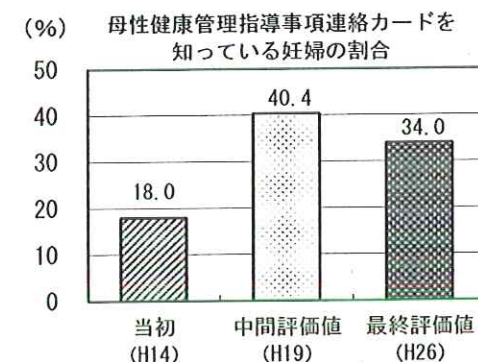
■指標（13）母性健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合

＜目標値＞100%

母性健康管理指導事項連絡カード※を知っている妊婦の割合は、18.0%から34.0%に増加しましたが、目標は達成していません。

※母性健康管理指導事項連絡カード…仕事を持つ妊婦が主治医等からの指導内容を事業主に伝えるカード。安心して子どもを産み育てる職場環境の整備を目的とする。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート



【課題3】小児保健医療等を取り巻く環境整備

《事業の取り組み》

妊娠期より早産予防、たばこや飲酒の害、また出産後は乳幼児の疾病や事故予防など、相談、両親学級、家庭訪問、乳幼児健診等において正しい知識の普及啓発に努め、より安全な環境づくりに取り組みました。

《評価》

■指標（14）周産期死亡率

＜目標値＞減少

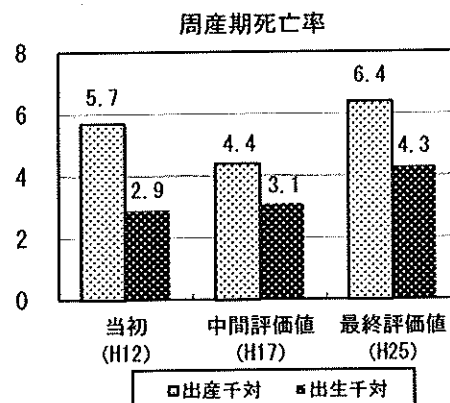
周産期死亡率は、出産千対*では5.7から6.4、出生千対**では2.9から4.3に増加しており、目標は達成していません。

妊娠満22週以後の周産期死亡数は当初16人、中間評価10人、最終評価15人です。

* 出産千対：(妊娠満22週以後の死産数＋早期新生児死亡数(生後7日未満の死亡)) / (出生数＋妊娠22週以後の死産数) × 1,000

** 出生千対：(妊娠満28週以後の死産数＋早期新生児死亡数) / 出生数 × 1,000

資料：兵庫県保健統計年報

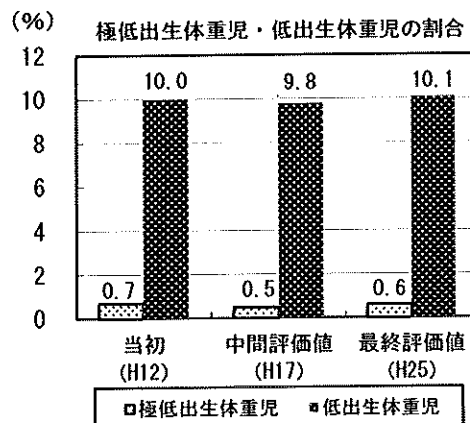


■指標（15）全出生中の極低出生体重児の割合・全出生数中の低出生体重児の割合

＜目標値＞減少

出生時の体重が1,500g未満の極低出生体重児は0.7%から0.6%、2,500g未満の低出生体重児は10.0%から10.1%と、ほぼ横ばいで変わっていません。

資料：兵庫県保健統計年報



■指標（16）新生児死亡率・乳児（1歳未満）死亡率（出生千対）

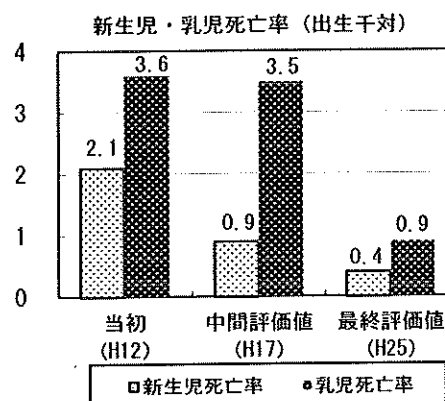
＜目標値＞減少

新生児死亡率*は2.1から0.4、乳児死亡率**は3.6から0.9と減少しており、目標を達成しています。

* 新生児死亡率：新生児死亡数/出生数 × 1,000

** 乳児死亡率：乳児死亡数/出生数 × 1,000

資料：兵庫県保健統計年報



■指標（17）乳児のSIDS死亡率（出生10万対）

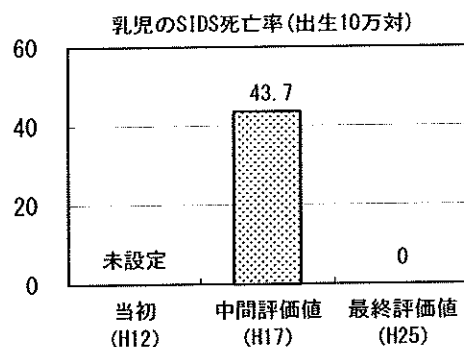
＜目標値＞半減

SIDS（乳幼児突然死症候群：sudden infant death syndrome）死亡率*は、目標設定した中間評価43.7から0へと改善され、目標を達成しました。

死亡数は、中間評価1人、最終評価0人でした。

*乳児のSIDS死亡率：乳児のSIDS死亡数/出生数×100,000

資料：兵庫県保健統計年報



■指標（18）幼児（1～4歳）死亡率（人口10万対）

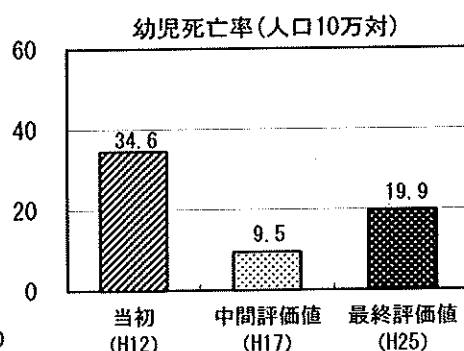
＜目標値＞半減

幼児死亡率*は、34.6から19.9に減少しましたが、目標には達しませんでした。

死亡数は当初4人、中間評価1人、最終評価2人でした。

*幼児死亡率：幼児（1～4歳）死亡数/幼児（1～4歳）人口×100,000

資料：兵庫県保健統計年報



■指標（19）不慮の事故死亡率*（人口10万対）

＜目標値＞半減

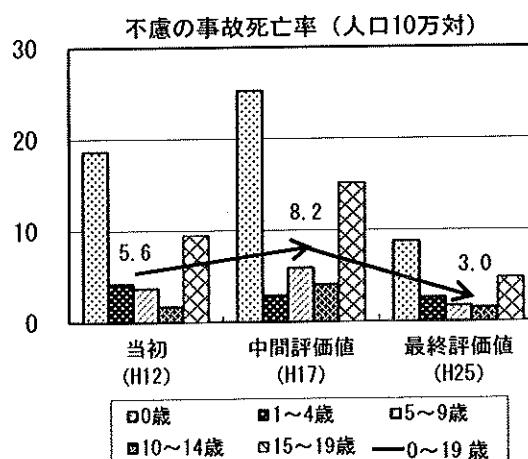
県内の不慮の事故死亡率は、いずれの年齢階級においても減少していますが、本市での数値未把握のため、評価できません。

年齢階級	当初	中間評価値	最終評価値
0歳	18.7	25.3	8.8
1～4歳	4.2	2.9	2.6
5～9歳	3.7	5.9	1.7
10～14歳	1.7	4.1	1.5
15～19歳	9.5	15.2	4.8
0～19歳	5.6	8.2	3.0

*不慮の事故死亡率：各年齢階級の不慮の事故による死亡数/各年齢別階級の人口×100,000

(0歳では出生10万対死亡率)

資料：兵庫県保健統計年報

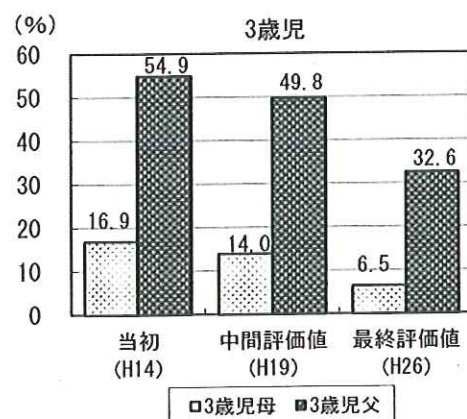
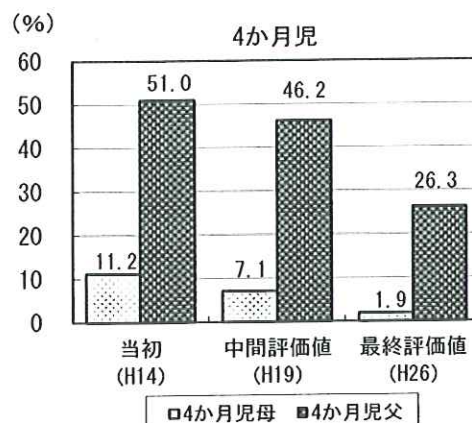
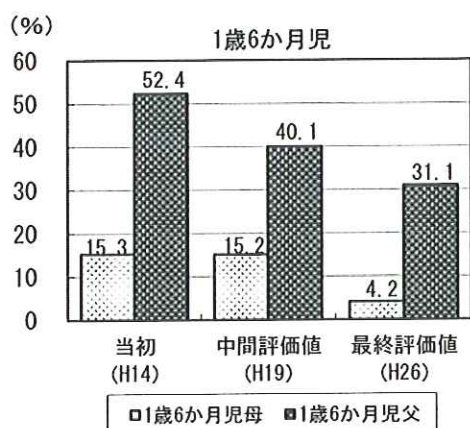


■指標 (20) 育児期間中の両親の自宅での喫煙率

<目標値> 0 %

育児期間中の両親の自宅での喫煙率は、父母ともに4か月児、1歳6か月児、3歳児のいずれの時期においても大きく改善しています。

4か月児、1歳6か月児、3歳児平均すると、父の喫煙率は52.8%から30.0%、母は14.5%から4.2%と改善していますが、目標は達成していません。 資料：市 出産・子育てに関するアンケート

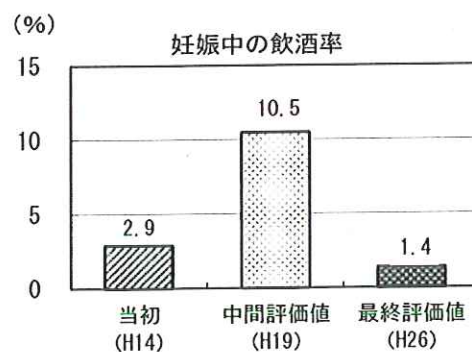


■指標 (21) 妊娠中の飲酒率

<目標値> 0 %

妊娠中の飲酒率は、2.9%から1.4%と減少していますが、目標は達成していません。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

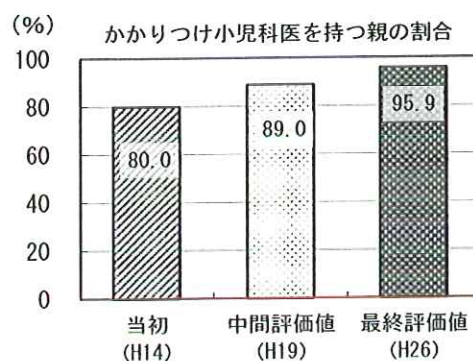


■指標 (22) かかりつけ小児科医を持つ親の割合

<目標値> 100 %

かかりつけ小児科医を持つ親の割合は、80.0%から95.9%と改善しましたが、目標は達成していません。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

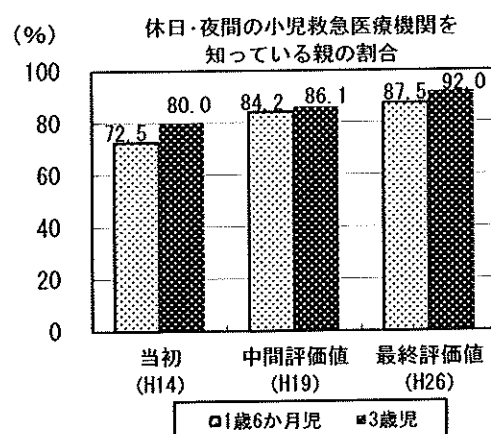


■指標（23）休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合

＜目標値＞ 100%

休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合は、1歳6か月児の親では72.5%から87.5%、3歳児の親では80.0%から92.0%と増加しましたが、目標は達成していません。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

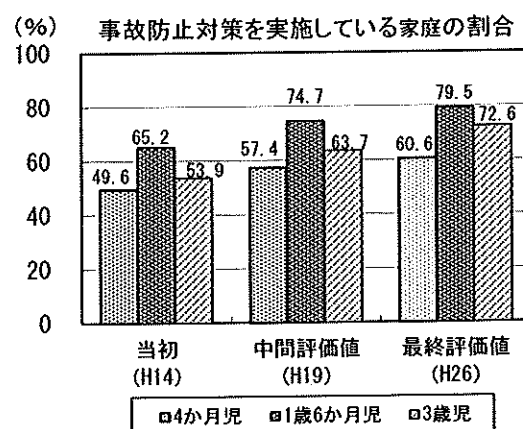


■指標（24）事故防止対策を実施している家庭の割合

＜目標値＞ 100%

事故防止対策を実施している家庭の割合は、4か月児がいる家庭では49.6%から60.6%、1歳6か月児では65.2%から79.5%、3歳児では53.9%から72.6%といずれも増加しましたが、目標は達成していません。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

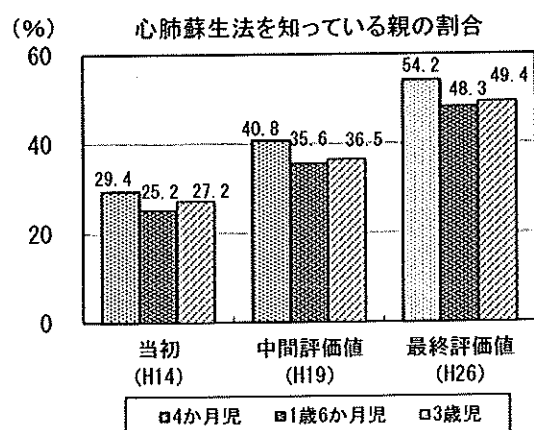


■指標（25）心肺蘇生法を知っている親の割合

＜目標値＞ 100%

心肺蘇生法を知っている親の割合は、4か月児をもつ親では29.4%から54.2%、1歳6か月児は25.2%から48.3%、3歳児は27.2%から49.4%と増加していますが、目標は達成していません。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

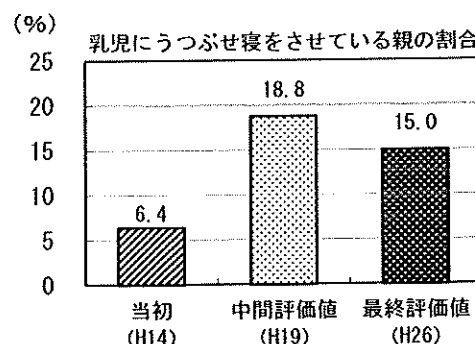


■指標（26）乳児にうつぶせ寝をさせている親の割合

＜目標値＞ 0%

乳児にうつぶせ寝をさせている親の割合は、6.4%から15.0%と増加しており、目標は達成していません。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

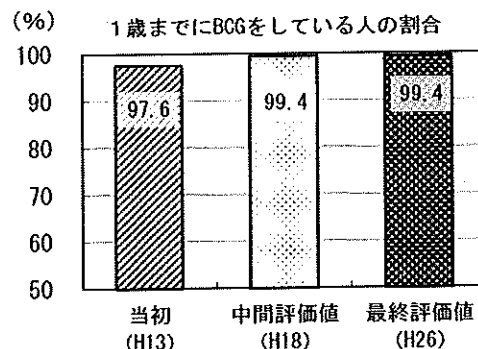


■指標（27） 1歳までにBCGをしている人の割合

<目標値> 100%

1歳までにBCGをしている人の割合は、97.6%から99.4%と、改善しましたが、目標は達成していません。

資料：市 乳幼児健康診査時調査

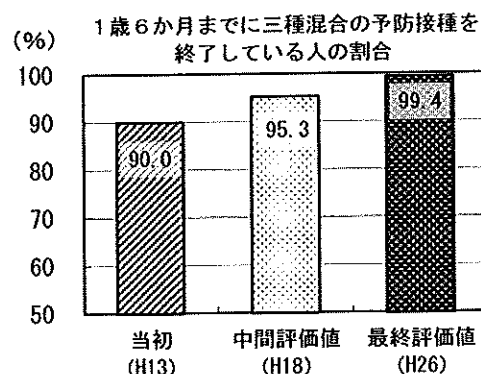


■指標（28） 1歳6か月までに三種混合の予防接種を終了している人の割合

<目標値> 上昇

1歳6か月までに三種混合の予防接種を終了している人の割合は、90.0%から99.4%と増加し、目標を達成しました。

資料：市 乳幼児健康診査時調査

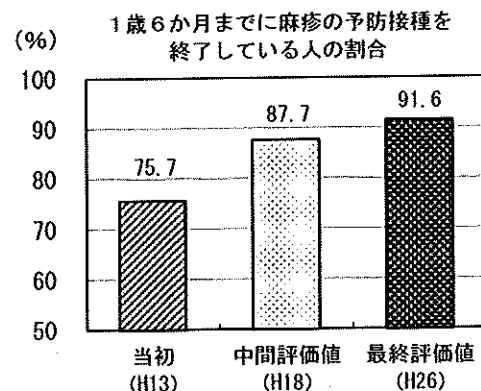


■指標（29） 1歳6か月までに麻疹の予防接種を終了している人の割合

<目標値> 95%

1歳6か月までに麻疹の予防接種を終了している人の割合は、75.7%から91.6%と増加しましたが、目標は達成していません。

資料：市 乳幼児健康診査時調査



【課題4】子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減

《事業の取り組み》

平成21年度に乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）を開始しました。

家庭訪問や乳幼児健診等において、育児についての情報提供を行うとともに、気軽に相談できる場を提供し、育児不安の軽減に努めました。また発達や環境面での支援が必要な家庭に対しては、関係機関と連携を図るなどの取り組みを行いました。

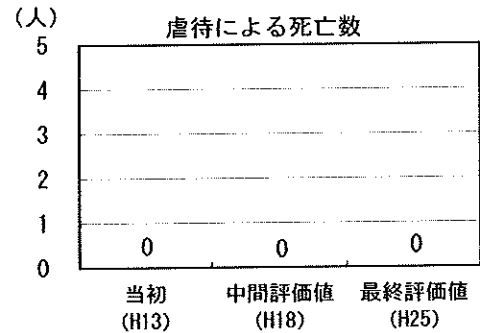
《 評価 》

■指標（30）虐待による死亡数

＜目標値＞0人

当市での虐待による死亡数は当初、中間評価、最終評価いずれも0人で、目標を達成しています。

資料：兵庫県中央こども家庭センター統計

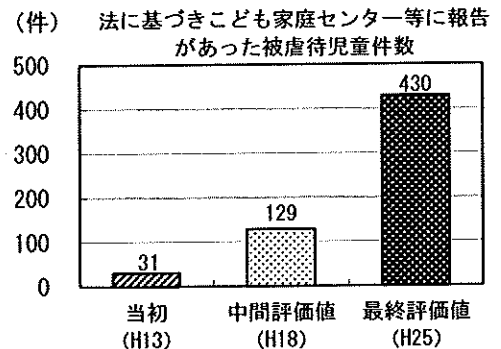


■指標（31）法に基づきこども家庭センター等に報告があった被虐待児童件数

＜目標値＞減少

児童虐待の防止等に関する法律に基づきこども家庭センター等に報告があった被虐待児童件数は31件から430件と大幅に増加しています。

平成12年児童虐待の防止等に関する法律の制定後、地域社会での虐待に関する意識が高まったこと、平成16年の法改正により通告義務の範囲が拡大し、虐待の疑いのある者も対象となったことなども要因と考えられます。以上により、国は現時点では本指標のみで課題の達成を評価できないとしており、本市において想定外の増加となっているため、同様に評価できないとします。



資料：加古川市通告受理件数

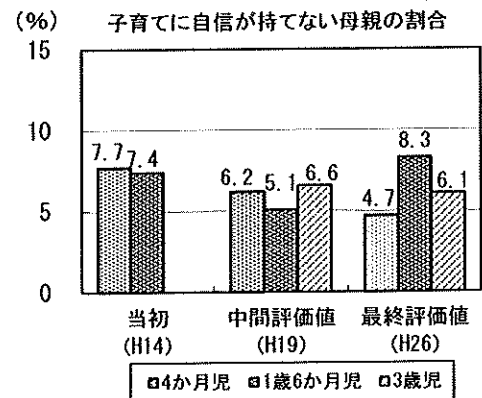
■指標（32）子育てに自信が持てない母親の割合

＜目標値＞減少

子育てに自信が持てない母親の割合は、1歳6か月児を持つ母親で、7.4%から8.3%と悪くなっていますが、4か月児では7.7%から4.7%、3歳児は6.6%から6.1%と改善しています。

4か月児、1歳6か月児、3歳児平均すると（3歳児については当初未把握のためデータなし）7.6%から6.4%と減少し、目標を達成しました。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

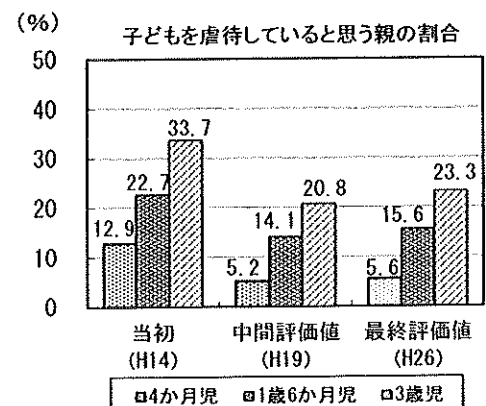


■指標（33）子どもを虐待していると思う親の割合

＜目標値＞減少

子どもを虐待していると思う親の割合は、4か月児を持つ親では12.9%から5.6%、1歳6か月児では22.7%から15.6%、3歳児では33.7%から23.3%といずれも改善し、目標を達成しました。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

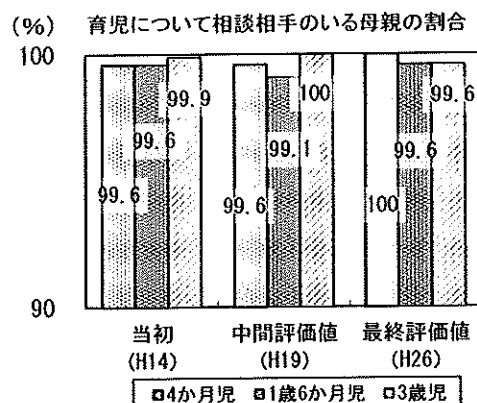


■指標 (34) 育児について相談相手のいる母親の割合

<目標値>増加

育児について相談相手のいる母親の割合は、4か月児、1歳6か月児、3歳児いずれの時期においても99%以上とかなり高い割合であり、変わりありません。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

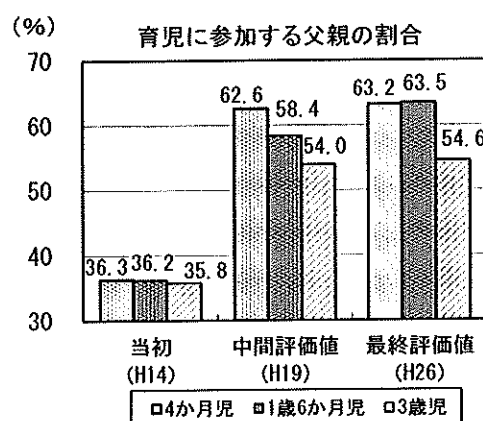


■指標 (35) 育児に参加する父親の割合

<目標値>増加

育児に参加する父親の割合は、4か月児を持つ父親では36.3%から63.2%、1歳6か月児では36.2%から63.5%、3歳児では35.8%から54.6%と増加しており、目標を達成しています。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

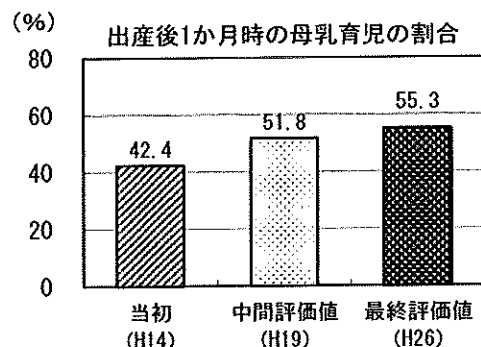


■指標 (36) 出産後1か月時の母乳育児の割合

<目標値>増加

出産後1か月時の母乳育児の割合は、42.4%から55.3%と増加し、目標を達成しています。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート

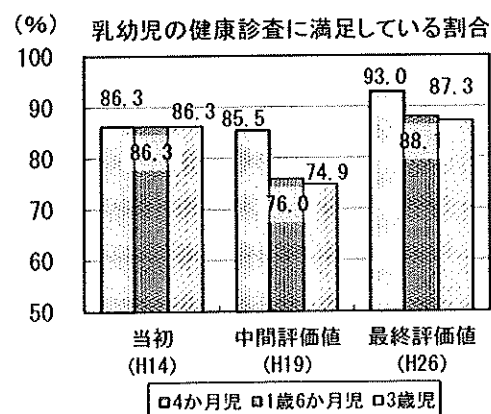


■指標 (37) 乳幼児の健康診査に満足している人の割合

<目標値>95%

4か月児健診86.3%から93.0%、1歳6か月児健診86.3%から88.1%、3歳児健診86.3%から87.3%といずれも改善しましたが、目標は達成していません。

資料：市 出産・子育てに関するアンケート



IV 最終評価から見てきたこと

1 思春期の心と体の健康づくりと健康教育

本市の小中学校では、日々の学校生活や保健の授業のなかで、命を大切にし、人とのつながりを大切にできる豊かな心と健康な体づくりをめざした教育を行っています。

たばこや薬物などの害から身を守るための医師会・警察などと連携した薬物乱用防止教室や、保健師が中学校に出向いての思春期教育の実施にも取り組みました。心の問題では、スクールカウンセラーを配置するなど、相談体制の整備に努めています。

しかし近年、思春期においては、望まない妊娠や人工妊娠中絶、たばこや薬物乱用等の問題、また心身症や引きこもりなどの心の問題のほか、インターネットの普及に伴う誤った情報の氾濫などが社会問題となっています。学校や家庭だけでなく保健、医療などの関係機関が連携し、正しい知識の普及を図ることが必要です。

2 安全で快適な妊娠・出産ができる環境づくり

妊婦健診公費負担制度を拡充し、すべての妊婦が適切な時期に妊婦健診を受けることができるようになりました。それにより、妊娠 11 週以下での早期の妊娠届出率が大幅に向上しました。

妊娠早期からの相談や両親学級、保健師・助産師等による家庭訪問などにより、安心して妊娠出産ができる環境づくりを行いました。また、産後うつ病の予防対策として、妊娠中の健康教育や、産後早期のスクリーニングを実施し、産後うつが疑われる場合は早期に治療につながるよう支援しています。

近年は、産後うつ病のほか、若年、未入籍、経済困窮など様々な要因によるハイリスク妊産婦について医療機関と連携して早期に支援できる体制「養育支援ネット」も整備されました。

引き続き、全ての妊産婦が地域で安心して妊娠・出産ができるよう、妊娠早期から出産、育児まで切れ目のない支援体制づくりへの取り組みが必要です。

3 小児保健医療等を取り巻く環境整備

乳児の SIDS 死亡率、新生児・乳児・幼児の死亡率は減少しました。医療の発展が大きな要因と考えられますが、それ以外にも小児を取り巻く環境が改善していることも要因の一つと思われます。かかりつけ小児科医を持つ親、休日の小児救急医療機関を知っている親、また、予防接種の接種率についても計画策定当初より増加しており、疾病の重症化予防ができています。これらは様々な母子保健事業での情報提供の効果と考えられます。

両親の喫煙率および飲酒率の大幅な減少、心肺蘇生法を知っている親の割合の増加などからも、安全面への意識が向上しているといえます。しかし、喫煙については、子ど

ものの年齢とともに両親の喫煙率が増加しています。受動喫煙の健康への影響は重大なため、乳幼児がいる家庭のみならず、社会全体で対策を検討することが重要です。

事故防止対策をしている家庭の割合は70%程度であり、多くの親が事故予防のために生活の中で工夫していました。今後も子どもの目線に立った、安全な環境づくりに取り組む必要があります。

4 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減

子育てに自信が持てない母親の割合は策定時よりは減少しているものの6%程度ありました。また、育児について相談相手のいる母親は、ほぼ100%ですが、パートナーしか相談できない方は3.7%おり、周囲に知人や支援者が少ないと思われる方がいます。

近年では少子化、核家族化、地域の繋がり希薄化から、戸惑いながら育児している親や、孤立している親も増えてきています。子どもの心の安らかな発達には、保護者の心身の状態が大きく影響します。

本市では、従来の育児相談、家庭訪問、乳幼児健康診査等の保健事業に加え、平成21年度から乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）を実施しています。保健師・助産師等がかかわることにより、疾病の予防や早期発見を図るとともに、子育てに自信を持ち、安心して育児ができるよう支援を行っています。

昨今では、地域での虐待予防への意識が高まり、こども家庭センター等に報告があった被虐待件数は大幅に増加しています。虐待が疑われる場合には「要保護児童対策地域協議会」において、関係機関と連携を図るなど、虐待予防の体制づくりに取り組んでいます。

安心して育児ができるよう保健事業のさらなる充実とともに、子育て広場などでの見守り支援など、保健・医療・福祉等関係機関が連携し、社会全体で包括的に子育てを支援していく体制づくりが大切です。

【 資 料 】

「加古川市健やか親子21」の最終評価一覧

分野	評価指標	目標値	現状値			総合評価
			当初	中間評価	最終評価	
課題1 思春期の心と体の健康づくりと健康教育	1 十代の自殺率(県数値) ・人口10万対	減少	4.6	5.7	4.5	評価できない
	2 十代の人工妊娠中絶実施率(県数値) ・人口千対	減少	9.4	7.2	5.3	評価できない
	3 十代の性感染症罹患率(国数値) ・性器クラミジア ・淋菌感染症 ・尖圭コンジローマ ・性器ヘルペス	減少 減少 減少 減少	6.35 1.86 0.73 0.53	6.79 2.4 0.82 0.63	2.92 0.82 0.33 0.35	評価できない
	4 薬物乱用の有害性について正確に知っている中・高校生の割合 ・中学2年男子知っている人の割合 ・中学2年女子知っている人の割合 ・高校2年男子知っている人の割合 ・高校2年女子知っている人の割合	100% 100% 100% 100%	— — — —	43.3% 41.5% 70.1% 57.6%	75.6% 78.5% 70.6% 70.2%	目標に達していないが改善した
	5 十代の喫煙率 ・中学2年男子喫煙したことがある人の割合 ・中学2年女子喫煙したことがある人の割合	0% 0%	27.8% 14.0%	11.4% 8.7%	6.0% 4.5%	目標に達していないが改善した
	6 十代の飲酒率 ・中学2年男子飲酒したことがある人の割合 ・中学2年女子飲酒したことがある人の割合	0% 0%	60.9% 56.1%	36.1% 32.0%	26.4% 31.4%	目標に達していないが改善した
	7 避妊法を正確に知っている18歳の割合 ・高校2年男子知っている人の割合 ・高校2年女子知っている人の割合	100% 100%	— —	53.8% 47.1%	38.8% 31.6%	悪くなっている
	8 性感染症を正確に知っている高校生の割合 ・高校2年男子知っている人の割合 ・高校2年女子知っている人の割合	100% 100%	— —	44.8% 41.8%	48.8% 46.7%	目標に達していないが改善した

分野	評価指標		目標値	現状値			総合評価
				当初	中間評価	最終評価	
課題2 安全で快適な妊娠・出産ができる環境づくり	9 妊産婦死亡率 ・出産 10 万対		維持	0	0	0	目標を達成した
	10 妊娠・出産について満足している人の割合 ・本人 ・夫	100% 100%		86.2% 86.6%	94.9% 100%	95.6% 100%	目標に達していないが改善した
	11 産後うつ病の発生率(国数値)		減少	13.4%	12.8%	9.0%	評価できない
	12 妊娠 11 週以下での妊娠届出率		90%	47.9%	61.6%	92.0%	目標を達成した
	13 母性健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合 ・4 か月	100%		18.0%	40.4%	34.0%	目標に達していないが改善した
課題3 小児保健医療等を取り巻く環境整備	14 周産期死亡率 ・出産千対 ・出生千対	減少 減少		5.7 2.9	4.4 3.1	6.4 4.3	悪くなっている
	15 全出生数中の極低出生体重児の割合 ・全出生数中の低体重児の割合	減少 減少		0.7% 10.0%	0.5% 9.8%	0.6% 10.1%	変わらない
	16 新生児死亡率(出生千対) 乳児(1 歳未満)死亡率(出生千対)	減少 減少		2.1 3.6	0.9 3.5	0.4 0.9	目標を達成した
	17 乳児のSIDS死亡率 ・出生 10 万対	半減		-	43.7	0	目標を達成した
	18 幼児(1~4 歳)死亡率 ・人口 10 万対	半減		34.6	9.5	19.9	目標に達していないが改善した
	19 不慮の事故死亡率(人口 10 万対)(県数値) ・0 歳 ・1~4 歳 ・5~9 歳 ・10~14 歳 ・15~19 歳 (0~19 歳)	半減 半減 半減 半減 半減		18.7 4.2 3.7 1.7 9.5 5.6	25.3 2.9 5.9 4.1 15.2 8.2	8.8 2.6 1.7 1.5 4.8 3.0	評価できない
	20 育児期間中の両親の自宅での喫煙率 ・4 か月児(母) ・4 か月児(父) ・1 歳 6 か月児(母) ・1 歳 6 か月児(父) ・3 歳児(母) ・3 歳児(父)	0% 0% 0% 0% 0% 0%		11.2% 51.0% 15.3% 52.4% 16.9% 54.9%	7.1% 46.2% 15.2% 40.1% 14.0% 49.8%	1.9% 26.3% 4.2% 31.1% 6.5% 32.6%	目標に達していないが改善した
	21 妊娠中の飲酒率 ・4 か月児(母)	0%		2.9%	10.5%	1.4%	目標に達していないが改善した

分野	評価指標		目標値	現状値			総合評価
				当初	中間評価	最終評価	
課題3 小児保健 医療等を取り巻く環境整備	22	かかりつけ小児科医を持つ親の割合 ・4か月～3歳児の親	100%	80.0%	89.0%	95.9%	目標に達していないが改善した
	23	休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合 ・1歳6か月児 ・3歳児	100% 100%	72.5% 80.0%	84.2% 86.1%	87.5% 92.0%	目標に達していないが改善した
	24	事故防止対策を実施している家庭の割合 ・4か月児 ・1歳6か月児 ・3歳児	100% 100% 100%	49.6% 65.2% 53.9%	57.4% 74.7% 63.7%	60.6% 79.5% 72.6%	目標に達していないが改善した
	25	心肺蘇生法を知っている親の割合 ・4か月児 ・1歳6か月児 ・3歳児	100% 100% 100%	29.4% 25.2% 27.2%	40.8% 35.6% 36.5%	54.2% 48.3% 49.4%	目標に達していないが改善した
	26	乳児にうつぶせ寝をさせている親の割合 ・4か月児	0%	6.4%	18.8%	15.0%	悪くなっている
	27	1歳までにBCGをしている人の割合 ・1歳6か月児	100%	97.6%	99.4%	99.4%	目標に達していないが改善した
	28	1歳6か月までに三種混合の予防接種を終了している人の割合 ・1歳6か月児	上昇	90.0%	95.3%	99.4%	目標を達成した
	29	1歳6か月までに麻疹の予防接種を終了している人の割合 ・1歳6か月児	95%	75.7%	87.7%	91.6%	目標に達していないが改善した

分野	評価指標	目標値	現状値			総合評価
			当初	中間評価	最終評価	
課題 4 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減	30 虐待による死亡数	0 人	0 人	0 人	0 人	目標を達成した
	31 法に基づきこども家庭センター等に報告があった被虐待児童件数	減少	31 件	129 件	430 件	評価できない
	32 子育てに自信が持てない母親の割合					目標を達成した
	・4 か月児	減少	7.7%	6.2%	4.7%	
	・1 歳 6 か月児	減少	7.4%	5.1%	8.3%	
	・3 歳児	減少	—	6.6%	6.1%	目標を達成した
	33 子どもを虐待していると思う親の割合					
	・4 か月児	減少	12.9%	5.2%	5.6%	
	・1 歳 6 か月児	減少	22.7%	14.1%	15.6%	目標を達成した
	・3 歳児	減少	33.7%	20.8%	23.3%	
	34 育児について相談相手のいる母親の割合					変わらない
	・4 か月児	増加	99.6%	99.6%	100%	
	・1 歳 6 か月児	増加	99.6%	99.1%	99.6%	
	・3 歳児	増加	99.9%	100%	99.6%	目標を達成した
	35 育児に参加する父親の割合					
	・4 か月児	増加	36.3%	62.6%	63.2%	
	・1 歳 6 か月児	増加	36.2%	58.4%	63.5%	目標を達成した
	・3 歳児	増加	35.8%	54.0%	54.6%	
	36 出産後 1 か月時の母乳育児の割合	増加	42.4%	51.8%	55.3%	目標を達成した
	37 乳幼児の健康診査に満足している人の割合					目標に達していないが改善した
	・4 か月児	95%	86.3%	85.5%	93.0%	
	・1 歳 6 か月児	95%	86.3%	76.0%	88.1%	
	・3 歳児	95%	86.3%	74.9%	87.3%	